

「アジア・アパレルものづくりネットワーク 第1回設立総会のご報告」

アジア・アパレルものづくりネットワークの第1回設立総会は、7月12日、東京、メルパルクTOKYOにて、正会員28社の内、21社の出席、協力会員8社の内7社の出席を得て無事開催の運びとなりました。出席者はジェトロ様を来賓として加え総計49名になりました。

総会では、小島正憲設立発起人からの挨拶に続き、和田 博設立準備室長から、出欠状況の報告を行い本日の最も重要な特定非営利活動法人(NPO)の設立に関する提案があり、一同の賛同を得て審議に移りました。

まず、議長に小島正憲氏が選出されて議事に入りました。

審議事項として、下記(2)～(13)の12項目について和田準備室長から提案がありました。

- (2) 議事録署名人の選任の件
- (3) 設立趣旨に関する件
- (4) 定款に関する件
- (5) 設立当初の財産に関する件
- (6) 平成23年度ならびに翌年度の事業計画に関する件
- (7) 平成23年度及び24年度の収支予算に関する件
- (8) 役員に関する件
- (9) 会費に関する件
- (10) 確認書の件 当団体のNPO法人に該当する件の確認
- (11) 設立代表者の選任の件
- (12) 事務所の所在地の件
- (13) 申請に関する軽微な変更について:設立代表人に委任

小島議長より、諮ったところ、異議なしとなり、全員一致にて可決されました。

審議事項終了後は、アジアビジネス探索では第一人者の増田辰弘先生から、「激変するアジアと中小企業の進出戦略」という演題で基調講演していただきました。講演の中で、投資資金は予算の10分の1で行っている企業もあるとの報告を受けて、皆さん、大変関心をもっておられたようです。時間の制約で十分話せなかったようですが、後の会員交流会の中で広東省で公安と合弁したパチンコ事業で大当たりしたある企業は、その後、重慶でもクリーニング事業でもぼろ儲けしたことなど普段では聞けない話でした。この講演でもって、設立総会を無事、終えることが出来ました。

会場を移して、会員交流会を行いました。47名という人数でしたが、立食パーティでは一人一人のお話が聞けないので、敢えて「ロ」の字型のテーブル配置にしました。

まず、休憩時間中に開催された第1回理事会で役員、事務局体制について決定された内容について和田準備室長から報告がありました。相談役に㈱サンティグループ常川会長、顧問に増田辰弘先生、代表理事に小島正憲氏、理事・事務局長に和田 博氏、理事に吉川一之氏、岩井一男氏、監事に蓑島美家雄氏、後援にアパレル工業新聞三宅編集長、同じリサーチセンター後藤社長が就くことになりました。

まずはじめに、小島代表理事の開会の挨拶に引き続き、乾杯の音頭を㈱東海サーモの浅野社長が行い、その後、各社各位の近況報告に移りました。皆さん、真摯にお話をいただき、相互の親睦、理解に少しでも繋がったのではないかと思います。最後に、昭和インターナショナル西澤社長様の閉会の挨拶で締めくくりました。まだまだ、顔合わせの段階ですが、少しずつ輪が出来て、全体の輪となり、これが徐々に大きな力となっていくことを期待したいと思います。

NPO アジア・アパレルものづくりネットワーク(内閣府認証申請中)

事務局長 和田 博

以上